



ありがとうそしてさようなら 八千把小学校浜分校

編集者
八千把小学校浜分校
閉校記念事業実行委員
熊本県八代市古閑浜町3287
編集責任者 園田歩美
発行日：平成30年3月18日



さまざまな思い出と共に……平成30年3月浜分校は閉校します

平成30年3月31日をもって浜分校が閉校いたします。昭和26年5月に開設され、66年の歴史を閉じることになりました。この間の修業生は千人を超え、義務教育のスタートである一、二年生をこの校舎で元気に過ごされた姿が思い起こされます。

春は花壇に花が咲き誇り、池には鯉や金魚が優雅に泳ぎ、校庭に子ども達の声が響く、すばらしい自然に恵まれた環境です。この浜分校では、二年生が一年生の先輩として学校生活を引



浜分校の閉校に寄せて
八代市立八千把小学校
校長 中津 謙一

平成30年3月31日をもって浜分校が閉校いたします。昭和26年5月に開設され、66年の歴史を閉じることになりました。この間の修業生は千人を超え、義務教育のスタートである一、二年生をこの校舎で元気に過ごされた姿が思い起こされます。

今だに閉校という事実が信じられません。浜分校は当たり前前に存在し、永遠に続くものだと思っていました。私も第31期の修業生です。思い出はたくさんありますが、その中でも誕生日に手作りの王冠をかぶり、写真を撮ってもらいみんなからおめでとくと祝ってもらった事です。現在は三男が一年生として在

多良木町の榎木小学校は閉校したものの7年ぶりに2014年4月、たった一人の生徒の為に再開されました。浜分校も、もしかしたら、孫、又はひ孫の時に「浜分校再開」のニュースが流れるかもしれません。そんな奇跡を信じてみたいとおもいます。浜分校、またね、



浜分校の閉校にあたって
浜分校閉校記念事業実行委員会
委員長 園田 歩美

親子とも浜分校の修業生という事は奇跡なのかもしれません。

< 浜分校の歩み >

- 昭和26年 5月 八千把村立八千把小学校浜分校として八代市古閑浜町3287番地に開校
- 29年 4月 八千把村が八代市と合併の為八代市立八千把小学校浜分校と改称
- 38年 5月 校舎前花壇完成
- 42年 3月 体育倉庫完成
- 43年 7月 国旗掲揚台等一式設置
プール落成 放送機器一式設備
- 45年 9月 学校無人化
- 47年 11月 体育倉庫新築
- 48年 9月 校区民による運動場整地作業実施
- 49年 10月 八千把小学校創立100周年記念
- 51年 3月 住宅を図書室に改装
- 53年 9月 運動場防球ネット張り
- 55年 12月 ジャングルジム設置
- 57年 2月 保健室完成
- 59年 6月 各教室にスピーカー設置
- 63年 10月 屋外時計設置
- 平成 3年 12月 開校40周年記念として分校の全景を航空より撮影
- 5年 9月 台風13号により被害発生
- 7年 10月 プレハブの体育倉庫完成
- 11年 6月 国旗掲揚ポール取り替え
- 9月 台風13号により被害発生
- 13年 5月 創立50周年記念として桜を植樹
- 6月 創立記念運動会と記念式典
- 7月 記念碑建立
- 10月 記念誌出版
- 14年 10月 体育室及び校舎間の通路が完成
- 16年 5月 イントラネット工事完成
- 17年 8月 屋外掲示板設置 体育室への渡り廊下完成
- 22年 9月 防災無線機器設置
- 26年 6月 分校閉校に関する説明会実施
- 28年 4月 熊本地震の為12日間の臨時休校
- 30年 3月 閉校記念式典を実施

八千把小学校校歌

一、竜峰の峰 さしのぼる
朝日に躍る わが希望
心明るく いそしめる
学びの庭に 光あれ
ああ 八千把 八千把 小学校

二、流れも尽きぬ くま川の
恵み豊かに みのある小田
尊き汗の 香ぞ 匂う
学びの庭に 誇りあれ
ああ 八千把 八千把 小学校

三、波静かなる 不知火の
海に平和の 姿あり
心むつみて 励み合う
学びの庭に 栄えあり
ああ 八千把 八千把 小学校



開設当時の関係者の皆さん



開設まもない頃の分校

八代市立八千把小学校
浜分校閉校記念式典
式次第

- 一、開式 藤里公彦
- 一、国歌斉唱
- 一、閉校記念事業 実行委員会代表挨拶 園田歩美
- 一、八千把小学校校長式辞 中津謙一
- 一、来賓挨拶 八代市長 中村博生様
- 八代市教育長 北岡博様
- 元八代市議会議員 藤井次男様
- 一、来賓紹介 宮本典子
- 一、在校児童発表
- 一、分校看板の返納
- 一、校歌斉唱
- 一、閉式 中村清雄



浜分校 DATA

- 昭和26年開設～平成30年閉校
- 浜分校修業生数合計：1,060名



分校の思い出

(平成16年修業) 吉岡 純奈

私は平成15年に男子4名、女子8名で浜分校に入学し、二年間でたくさんのお話を学



びました。少人数であり、男女共に仲が良く毎日がとても楽しかった思い出があります。

一番の思い出は、12名全員で参加した小運動会の一輪車と竹馬です。みんなで練習を頑張り本番ではたくさんの技を決める事が出来ました。保護者や地域の方々から大きな拍手を頂き、とてもうれしく今でも鮮明に覚えています。

他にも学習発表会や縄跳び大会など様々な行事があり、そのたび地域の方々からの支えのおかげで成功することが出来ました。

分校は閉校になりませんが学んだことをこれからの生活に生かしていきたいと思えます。

「浜分校」は私たちの誇り

(昭和48年修業) 西濱 和博

身長122cm、体重24kg。初めての義務教育の門をくぐった七歳の児童たちには、き



つとあどけなさが残っていたことでしょう。

時は経ち、私は今年度、大人の社会塾「熱中小学校」に入学し、一年生となりました。今、七歳の目に立ち返り、浜分校という環境で過ごさせていたいただいたあの頃に想いを馳せると、その一日一日が、かけがえのない幸せな時間であったことに改めて気付かされます。

今日まで、浜分校の校風を綿々と継承いただいた皆様の弛まざるご努力に、心より敬意と感謝を申し上げます。

浜分校の思い出が、永遠に皆様の心に刻まれますとともに、古閑浜町のご発展の新たな標となりますよう祈念申し上げます。

永遠にさやかなれ浜分校。

分校の思い出

(昭和40年修業) 入江 健一



授業が終わって学校の裏門から出ると横の小川にはフナやコイが泳いでいました。ランドセルとズックを橋の上に置いて魚を追いかけ回し、夢のような楽しい時間を過ごしていました。

家に帰ると母から「ランドセルとズックはどうした？」と言われ分校の裏門に取りに戻る。それが毎日でした。

そんなことから成績が良いはずもなく、救いは先生が行って下さった課外授業でした。けっこう時間をかけて教えてもらい、内容を理解できる様になりましたが、分校での教育体制は、理想をはるかに越えた素晴らしいもので有ったとおもいます。閉校はつくづく残念でなりません。

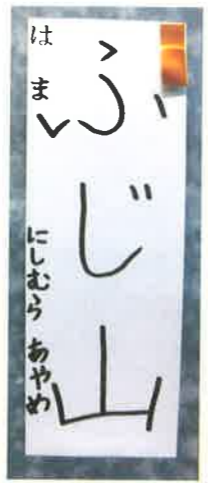
HAMABUNKO

Memory

浜分校の思い出

在校生の作品

また、地域の方とも七夕や菜の花



にしむら あやめ



みやた ゆいか



ふかがわ そうま



そのだ とうた



まつなが りあな

浜分校だからこそ

一年担任 重本 遥

分校の子供たちと楽しく学習できた一年間でした。授業では、一人一人の学びにじっくりと関わることができました。子供たちは自分たちで考えた遊びをしたり分校伝統の一輪車や竹馬練習をしたりと明るく元気に過ごしていました。

また、地域の方との種まきを一緒にやりい思い出になりました。

分校だからこそできた学びで、キラリと光る「ぴかいち」な一年生に成長してくれたと思います。

楽しかった分校生活

(平成22年修業) 作田 悠翔

私は小学校での2年間を浜分校で過ごしました。浜分校は本校と違って本当に少ない人数での生活を送っていました。しかし、少ないからこそ友達や先生との関係も深まりました。また、私が浜分校で一番思い出に残っていることは小運動会です。その中でも竹馬や一輪車に乗って演技したこととそれに至るまでたくさん練習したことがとても記憶に残っています。みんなで協力することや最後まで諦めないことを学校生活で学びました。低学年だったので色々迷惑をかける事も有りましたが、いま、中学生となり充実した日々を過ごしているのはこの浜分校で有意義な時間を

を過ごせたからだと思えます。もう閉校してしまうのは残念ですが、今までの感謝の気持ちを忘れずにこれから大切にしていきます。



平成元年頃



平成10年頃



平成11年頃

浜分校で学んだ事

(昭和27年修業) 中村 清雄

分校が開設されたのは私が2年生になった時でした。担任は梅田先生という方で絵画が専門の先生でした。初めての秋に学芸会が行われる事になり私達2年生は「舌きり雀」の劇をすることにしました。劇中で正直じいさ

んを歓迎する場面があり、私は分校の全景を3x4分で水彩絵の具で描くことになりました。終戦からまだ6年で物資の不足する中、水彩絵の具を見るのも初めてでしたが、夏休み中先生の手ほどきを受け一生懸命練習しました。

絵のできばえとかはまったく思い出せませんがそれ以降、絵を描くことが大好きになり、その後、絵とは多少違いますがグラフィックデザインが私の一生の職業となりました。夏休みの暑い中、校庭の中心近くに座って絵の練習をしたことを懐かしく思い出します。

閉校になる浜分校には感謝の気持ちでいっぱいです。

浜分校の思い出

(平成25年修業) 柏木 啓太

ぼくが浜分校に通学した時の思い出は、鯉がいて、毎日欠かさずエサをあげた事です。浜分校が閉校すると鯉が住んでいる池が無くなり鯉たちは住む事が出来なくなるのではないかと心配になります。又、鯉を飼う事によって自分自身に使命感のようなものが育ったような気がします。それから、一輪車に乗れるまで校庭で一生懸命に練習したことも大切な思い出です。仲間と一緒にたくさん練習し全員でできるようになりました。今年で浜分校は閉校します。残念でたまりませんが、ぼくはいつまでも浜分校での思い出を大切にしていきたいです。

浜分校、ありがとう



みんなで力を合わせて……一輪車での見事な演技!



七夕まつり/平成11年頃



防災訓練/平成12年頃